

デマンドバス事業から乗合バス運行事業補助への変遷

① <経緯等>

松田町ではバス利用者の低迷による路線退出の頻発、結果として交通空白地域、交通不便地域の拡大をはじめ、サービスレベルの低下が進行していました。

これら多くの課題(公共交通サービスの水準の維持・向上及び持続性のある運行・運営を継続等)を解決し、且つ新たな発想を取り入れた公共交通施策を展開(既存バス路線の補完)として、平成 22 年度には社会実験事業を実施する一方、「松田町地域公共交通総合連携計画」を策定し、翌平成 23 年 6 月～平成 24 年度 9 月末までデマンドバス事業を行いました。

② <デマンドバス事業：年度別事業実施状況>

年 度 等	運行経費等(円)【 】内は補助額	備 考
平成 22 年度 ※社会実験 (H23.1.4～H23.3.25) 【地域公共交通活性化・ 再生総合事業補助金】	5,899,275 円 【5,140,000 円】 受益者負担：なし	運行経費等のうち 2,240,000 円がバスの運 行経費(運行委託契約)。 その他は連携計画策定費等
平成 23 年度 ※実証運行 (H23.6.1～H24.3.31) 【ふるさと雇用再生特別 基金事業】	29,400,000 円 【全額 29,400,000 円】 受益者負担：なし	運行経費等の金額は、バ ス事業者との委託契約金 額。 (パソレット代なども含む)
平成 24 年度 ※実証運行 (H24.4.1～H24.9.30) 【ふるさと雇用再生特別 基金事業(継続)】	6,780,000 円 【全額 6,780,000 円】 受益者負担：なし	同上

③ 実施結果(平成 23・24年度)及びアンケートを踏まえての対応

高齢化が進んだ 5 年後、10 年後の松田町の姿を想定し、高齢者に優しく、また利用者が減少傾向にある路線バスの減便・撤退への対応を合わせた松田独自の公共交通政策が必要。→ 平成 24 年 10 月からの新たな施策を展開。

④ 平成 24 年 10 月以降の新たな施策

(既存路線の拡充→乗合バス運行事業補助による「増発・枝線運行」の実施)

- ① 平成 23・24 年度を合わせた運行実績で平均 3 人以上の乗車があった便について、その時間帯の路線バスの増発・枝線運行を実施。
※なお、料金は既存の路線バスと同額。枝線まで乗車した場合でも枝線の起点となる県道 710 号沿いのバス停と同額。
※新松田駅から乗車した場合、長寿橋バス停まで乗っても、田代向バス停と同額。
- ② デマンドバスで利用者の多かった便の時間帯について、富士急湘南バス(株)の路線バスを増発運行するとともに、虫沢や萱沼等の枝線運行を実施。

乗合バス運行補助事業

年 度 等	運行経費等
平成 24 年度 ※新たな増発・枝線乗入運行 (H24.10.1~H25.3.31)	1,555,000 円(注) (町全額補助：決算額)
平成 25 年度 ※増発・枝線乗入運行 (H25.4.1~)	3,977,000 円(注) (町全額補助：予算額)

(注) 増発・枝線運行便に対して町が補助するが、運賃収入分は減額する。

⑤ 路線バス増発及び枝線乗入運行系統等

系統名	経 由
【松 51】	新松田駅～上茶屋～萱沼入口～田代向～寄
【松 53】	新松田駅～神山～湯の沢上～萱沼上～長寿橋～寄
【松 54】	新松田駅～上茶屋～湯の沢上～萱沼上～長寿橋～寄
【松 55】	長寿橋～寄～土佐原公民館～上茶屋～新松田駅

【松 55】	増発・枝線	虫沢 3.4km	土佐原 1.6km	計 5.0km
【松 54】	運行	萱沼 3.8 km	虫沢 3.4km	計 7.2km
【松 54】	枝線運行 (既存便)	萱沼 3.8 km	虫沢 3.4km	計 7.2km
【松 53】		萱沼 3.8 km	虫沢 3.4km	計 7.2 km
【松 53】		萱沼 3.8 km	虫沢 3.4km	計 7.2 km
【松 53】		萱沼 3.8 km	虫沢 3.4km	計 7.2 km
計				計 41.0 km

※ 【松 51】 【松 54】 【松 55】 については、増発を実施。

⑥ 路線バス増発及び枝線乗入運行路線図

